

して従業員の労働諸条件を最も有利に處理するには組合の各機關が處理すべき問題自體の本質を充分に説明、理解しておらねばならない。組合が處理すべき従業員労働諸条件の中には「割増の本給繰り入れ」「退職手当の増額」「共済組合の法人化」「職夫の職工採用」の如く實現までに永続的な處理方法を必要とする性質を持つものと、當面に起つて個々に解決し得る性質を有するものと二つの異つた種類がある。

組合が會社に對して労働諸条件を處理するに當つては、材料を精査、正確にし、數理的な内容を豊富にし、必ずそれを實現させる信念を堅めて、當局と折衝し、相手を屈伏させるだけの精密なる準備と用意をしておかねばならぬ。組合は一度決議した事項に對しては如何なる犠牲と努力を拂つても、これを實現させねば止まない權威と實力を持つてゐなければならぬ。組合の指導中心機關は亦、斷じて區々の意見

に右往左往して、大衆に迎合するが如き態度で問題を處理してはならぬ。組合の中心機關は冷靜、細密に問題自體を研究精査して、問題に對して最も正確なる認識を把握し、斷じて大衆人氣取りの宣傳を目標にした實力以上の空決議をしてはならない。

四、組合と懇談會の有機的結合の方針

舊同志、鐵聯時代には労働組合と懇談會とが従業員に關する同一の問題の取扱ひに就いても一致を缺き、互に分離した立場から問題を處理してゐた。労働組合側は懇談會を當局の御用機關として排撃したこともあつたので、そこには必然的に感情の種が生じて、相互に分離して對立的建前にあつたが、

このことは従業員に直接關係する問題を處理するのに従業員自體が分散し、却つて當局に乗せられ、極めて不利な立場に従業員を陥れてゐた。

日本製鐵従業員組合は前車の覆轍に學んで斷じて、かゝる失敗を繰り返してはならぬ。組合と懇談會との關係は政黨と代議士との關係に等しいものである。従來、個々の代議士が分散して議會に出てゐるのでは代議士としての力も機能も發揮出来ないが政黨の組織の力を背景にし、政黨の統制の下にその政策を提げて政府に肉迫することに依つて代議士としての力強い機能を發揮することが出来るのである。懇談會員も全くこれと同様である。由來懇談會は當局の諮問機關であつて、決して懇談會員多數に依つて、決議實行されるが如き民主的な組織も意義もないので、懇談會員が懇談會員としてのみ分散してゐるのでは、只だ當局の召集に應じ諮問に答へるだけで甚だ無力

にして、従業員のために何等の機能を發揮するものではない。代議士と政黨の關係に於けるが如く、懇談會員が従業員組合を背景にし、全従業員が結集した組織の力に後押しされて、懇談會の開催を期し、組合の主張、對策を以て、當局に肉迫、論議してこそ懇談會員の力は完全に發揮され、全従業員のために最も有効にその機關が活用されるのである。

組合は全従業員のためには一切の機關を最も有効に有意義にさせねばならない。組合が懇談會と有機的に結合して、統制、秩序を以て、この機關を最も完全、圓滑に運用させて、これを團體協約締結の中心機關へまで發展、誘導せねばならぬ。組合と懇談會が有機的な緊密な關係を保ち、全従業員の統一、集結された總意が完全に反映されるようになれば、今日までの懇談會のやうな單なる諮問機關に留めず、會社側もこの機關へ代表者を送り、労働組

合からも代表者を派して、而して、労働諸条件の一切を協議する委員會の設置にまで發展させねばならぬ。かくして組合は懇談會と協力一體となることに依つて會社に組合を公認させる一つの楔機とせねばならぬ。

五、組合の整備統制に就いて

労働組合はその綱領、主張を精神として、軍隊の如く堅固なる組織統制がなければ組合の目的と任務を達成することは出来ない。

日本製鐵従業員組合結成以來、八月、既に支部の組織されたもの二十七、更らに近日中支部結成を豫定されてゐるものも五、六に達してゐる。本秋、組合結成第二年度大會を迎へるまでは最低限度にしても、全従業員八、九割を組織する確信を以つて進んでゐる。本組合結成以來日向淺く、支部組織に殆ど全機關を擧げて没頭してゐる中に着々と組合としての仕事も進んで來た。

こうした中で、強力なる組合の統制を圖することは二重、三重の困難ではあるが、組合に統制力がなく、組合の不拔の力を信頼されてゐなければ、事に臨み、各種の策動に乗せられて組合は衰微、滅亡しなければならぬ。組合が堅固、不拔の統制力を保持するには不斷に組合の侵し難き力を嚴示しておかねばならない。組合は日常の問題の處理にも斷じて浮薄、輕率な態度を以て臨むことなく、又大衆迎合的な實力以上の宣傳的行動を採つてはならぬ。常に「組合は何を爲しつゝ、何に向つて進んでゐるか」を組合内外に明示し、何ものにも至められない信念と方針を以て堂々と組合の綱領、主張に規定されてゐる大道を進んでゐれば、組合に對する尊敬と信頼に依つて完全に組合を統制することが出来る。

軍事インフレ鐵工業は活況を呈してゐるがこの景氣も明年を頂上にして國際的非常時の解消と共に消散し、不況の大嵐が來ることは極めて明白である